

## 黒木地区をはじめ周辺地区に市営住宅の建設は考えられないか 三城城址について

恒石議員

(1)市営住宅について

これまで、過去2回にわたり質問してきたが、先の3月議会です市長は、現時点では早急に取り組み状況ではないが、黒木地区をはじめ周辺地域への調査研究は取り組みたいと答弁された。その後の程度進んでいるのか。

私は、市外から移住した方や地元黒木に新居を建てて帰ってきた方がいる状況を考えて、黒木地区に、公営住宅を建設することで更に移住が期待でき、過疎化の解消、地域の活性化に繋がると思うが、どう考えるのか。また、土地や建築費等も抑制でき、安い家賃設定ができると思う。不景気な時だからこそ、市民が住みやすいまちづくりを早急に考える事が地方行政のあるべき姿ではないのか？

(2)三城城址について

3月議会でも質問したが、その後どうなっているのか？私たちの調査では、取得・同意を得ている分は先に審議にかけ検討できるとのことである。3億円もの資金が使われており、早急に申請するべきだと思いが、どう考えているのか。

市長

(1)本年5月に諫早市にある木造市営住宅の視察を行った。木造住宅は腐食が早く維持管理費がかかるという課題も聞かれている。また、市街地周辺部分に市民のニーズがどれほどあるのか、市営住居入居者に対するアンケート調査も実施している。途中段階であるが、自然環境に恵まれた周辺地域に住みたいと思っている方もいる。過疎化対策からも、自然に恵まれた周辺地域への住宅建設は有効であると考えており、すぐに取り組むことは困難であるが、必要性や周辺の活性化、費用対効果等を含めて引き続き調査に取り組み、実現に向けて努力していきたい。

教育次長

(2)三城城址の国指定については、現在地権者、占有者と随時協議し、同意を進めている。今年2月には文化庁に出向き、地権者の要望や現状の同意状況を報告している。その際、国指定の条件について、再度確認したところ、先行取得だけでは指定はできない。城の全体をとらえ、それをまとめて指定対象にするということで指導を受けている。同意の状況は、地権者、占有者25名中、同意書は13名、占者25名中、残り12名中、3名の方は合意をいただいている状況である。今後も指定申請に向けて鋭意努力していきたい。

## 東彼杵町との合併について 大村市斎場の緊急整備の必要性

中瀬議員

(1)県央の中核市としての責任と

機能を果たすには東彼杵町と合併し、10万都市となる必要がある。お互いに足りないモノを補完し合えばより強い自治体が生まれる。決定されるのは向こうであるが、色んな面で大村のメリットにもなる事であり、合併へのエールを送るべきと思うが、いかがお考えか？

(2)先日市民からの依頼を受け、大村市斎場へ行き実状を調べた。全自動で稼働していると思っていたが、人手が必要なことを認識した。棺のサイズが大きくなっており、現在の設備では対応が難しくなっている。稼働してから20数年経ち、老朽化も進み早急な大型炉の増設や既存の炉の改修が必要と思われるが、どのような対応をお考えか。

市長

(1)東彼3町の合併については、3町がそれぞれに決めることとあり、現段階で大村市が積極的に関与する立場ではない。しかしながら、東彼3町と大村市は、地理的要因や歴史的背景など深い関わりあいがあり、今後、東彼杵町あるいは東彼3町が大村市と合併する意向があれば、本市として積極的に対応していきたい。

環境部長

(2)斎場は、築後22年を経過し、設備も老朽化しているが、毎年専門業者による保守点検を行っている。指摘を受けた箇所については、設備の改修や器具の取り換え等を年次計画で行っている。さらに、斎場従事者により日々点検を行い、設備の維持管理に努めている。

火葬炉については、大型炉が1基、普通炉が3基で業務を行っており、葬儀社の皆様には利用できる棺のサイズについては周知徹底を図っている。しかし、最近はお亡くなりになる方の体等が大きくなっていることから、平成21年度で普通炉1基を大型炉へ改修する予定である。

（その他の質問事項）

- ・水資源問題について緊急早急な取り組みを
- ・東大村産廃処分場問題の根本的解決に向けて
- ・地場産業育成振興について実効性のある支援策を
- ・公共工事における入札、発注手続きについて

